

平成 29 年 度

小学校教員資格認定試験

教職に関する科目 (Ⅱ)

生 活

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 29 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊗ ⊗ ⊕ ⊕

以下の問いにおいて、『小学校学習指導要領解説』とは『小学校学習指導要領解説 生活編』（平成20年8月文部科学省）を指すものとする。

問1 『小学校学習指導要領解説』の「第1章 総説 2 生活科改訂の趣旨 (2)改善の具体的事項 (エ)」に記述された次の文章中の ・ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

の様子を調べ、安全を守ってくれる人々に関心をもつなど、安全な登下校に関する指導の充実に配慮する。また、自然に直接触れる体験や動物と植物の双方を自分たちで継続的に育てることを重視するなど、自然の素晴らしさや を実感する指導の充実に配慮する。

	A	B
ア	通学路	生命の尊さ
イ	学校の周り	自分の成長
ウ	通学路	自分の成長
エ	学校の周り	生命の尊さ

問2 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 生活科の目標 第1節 教科目標 1 教科目標の構成」にある生活科の教科目標である。文中の三つの下線部のうち、誤りのある記述はいくつあるか。下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の成長について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

- ア 一 つ
- イ 二 つ
- ウ 三 つ
- エ 誤りはない

問 3 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 生活科の目標 第1節 教科目標 2 教科目標の趣旨」には「(4)生活上必要な習慣や技能を身に付けること」とあるが、ここでいう「生活上必要な習慣や技能」の例としては記述されていない内容を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 安全への意識を高める
- イ 遊びのルールを守る
- ウ 家庭において小動物の世話をする
- エ 必要な道具を使って遊んだり、ものを作ったりする

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 生活科の目標 第2節 学年の目標 1 学年の目標の設定 (1)2学年に共通する目標の設定」に記述された次の文章中の ・ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第1に、低学年の児童には、 な活動を通して思考するという発達上の特徴があることである。児童は試行錯誤したり、繰り返したりしながら対象に何度もかかわりながら体全体で学ぶ。このような低学年の児童の発達上の特徴に配慮し、学年の目標を共通に示して、児童の実態に即して活動の などに配慮した柔軟な指導ができるようにした。

	A	B
ア	具体的	深まりや広がり
イ	具体的	個別化と多様化
ウ	体験的	深まりや広がり
エ	体験的	個別化と多様化

問 5 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第1節 内容構成の考え方 4 内容の構成要素と階層性 (1)各内容の構成要素」の要素に記述されていない内容を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 児童が直接かかわる学習対象や実際に行われる学習活動等
- イ 対象とのかかわりや学習活動を通して生まれる気付きなどの一人一人の思考や認識等
- ウ 学習活動、思考や認識等を通して一体的にはぐくまれる能力・態度等
- エ 学習活動において必要となる知識と技能等

問 6 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 生活科の内容 第 1 節 内容構成の考え方 4 内容の構成要素と階層性 (2)内容の階層性」において三つの階層が示されている。このうち「児童の生活圏としての環境に関する内容」の階層に記述されているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 動植物の飼育・栽培
- イ 公共物や公共施設の利用
- ウ 学校と生活
- エ 自分の成長

問 7 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 生活科の内容 第 2 節 生活科の内容 (2)」に記述された次の文章中の ・ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

自分でできることなどについては、自分のことは自分でする、手伝いをする、家族が喜ぶことを見付ける、 が楽しくなることを工夫するなどが考えられる。これらは、考えるだけでなく、実際に行うことが大切である。さらに、活動したことについて、家族の感想を聞く機会を設けたり、 交流したりすることにより、児童は充実感や自信をもつことができる。

	A	B
ア	自分の学習	友達と伝え合い
イ	家庭生活	友達と伝え合い
ウ	自分の学習	他の家族と
エ	家庭生活	他の家族と

問 8 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 生活科の内容 第 2 節 生活科の内容 (6)」において、自然や物にかかわる遊びの説明として記述されているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 児童が好んでする遊びには、室内での遊び、パソコンや携帯端末を使った遊びなどが考えられる。

イ 友達とのかかわり、約束やルールづくりも大切であるが、まず児童一人での遊びの充実を図ることが大切である。

ウ 児童が遊びを工夫するためには、遊びに関連する知識や方法を事前に習得できるように配慮することが大切である。

エ 児童がその場所のもつ環境の特性や構造を生かして遊びを創り出し、安全に、そしてダイナミックに活動できるよう、学習環境の構成などを工夫していくことが大切である。

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項 (1)」において、地域の人々、社会及び自然に関する学習活動の工夫についての説明で示されている内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 生活科学習の対象や場は、児童の生活圏にある人、社会、自然である。

イ 社会が変化し地域の様子が大きく変わる中、児童が地域の人々、社会及び自然と直接かかわることが少なくなっている。

ウ 低学年の児童は、人、社会、自然を客観的に区別しながら認識する。

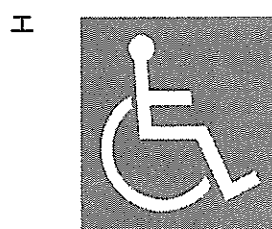
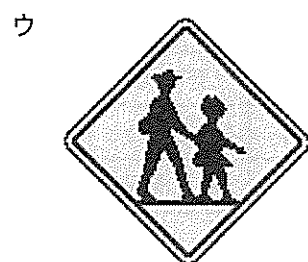
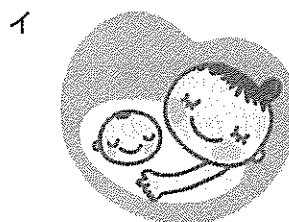
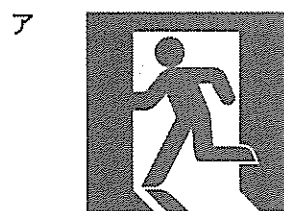
エ 児童の側に立ち、児童の思いや願いに沿った必然性のある学習活動を展開することが重要になる。

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第5章 指導計画の作成と学習指導 第1節 生活科における指導計画と学習指導 2 学習指導の特質」には、次の5点が挙げられている。文中の ~ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- 児童の身近な を活動や体験の場や対象にすること。
- 児童が身近な人や社会、自然と 活動を重視すること。
- 児童の思いや願いをはぐくみ、意欲や を高める学習過程にすること。
- 働きかける対象についての気付きとともに、 に気付くことができるようにすること。
- 児童の姿を丁寧に見取り、 , 活動の充実につなげること。

	A	B	C	D	E
ア	生活圏	直接かかわる	主体性	自分自身	働きかけ
イ	環 境	向き合う	主体性	他者との関係	見守り
ウ	生活圏	直接かかわる	積極性	自分自身	見守り
エ	環 境	向き合う	積極性	他者との関係	働きかけ

問11 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (1)学校と生活」にかかわる活動として、児童が街中でいろいろな施設を調べた。障害者用設備を表す表示として適切なものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



問12 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (2)家庭と生活」にかかわり、家庭の食事と自分とのつながりについて考える活動を行った。栄養バランスの良い食事の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア	パン	卵	ブロッコリー
イ	にんじん	かぼちゃ	さつまいも
ウ	サバ	米	じゃがいも
エ	とうもろこし	牛肉	チーズ

問13 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (4)公共物や公共施設の利用」にかかわる活動として、町の探検を設定した。この活動の留意点を述べたものとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 町の探検の場所の選定にあたっては、児童自身が調べてみたいという強い思いが重要であるので、児童以外の人も使っている場所については対象としなくてよい。

イ 乗り物を利用する例としてバスに乗る場合、主にバスの乗り方を体験させるようにして、料金の支払い方や運転手の仕事まで気付かせることはしないようにする。

ウ 駅や図書館、博物館など、公共施設の適切な使い方を知ることが主眼であり、公共性への気付きは求めない。

エ 身の回りにはみんなで使うものがあることや、それを支えている人がいることを、児童が実感的に分かることが大切である。

問14 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (5)季節の変化と生活」に関連し、月に関連した季節の行事について考え、月の様子を観察することとした。月の満ち欠けの順序(サイクル)として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 新月 → 下弦の月 → 上弦の月 → 満月 → 新月

イ 新月 → 上弦の月 → 満月 → 下弦の月 → 新月

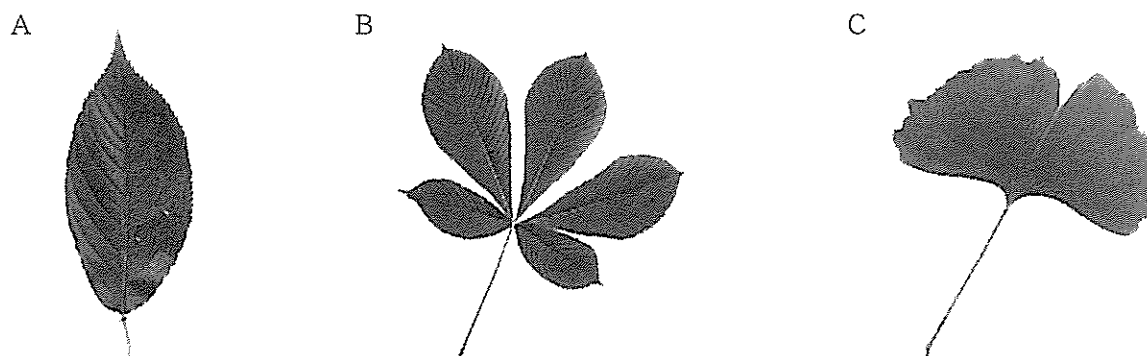
ウ 新月 → 下弦の月 → 満月 → 上弦の月 → 新月

エ 新月 → 満月 → 上弦の月 → 下弦の月 → 新月

問15 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (6)自然や物を使った遊び」にかかわり、植物の実や種を見つけ、その性質について考える活動を行った。植物の子孫が増やされるためには、実や種が遠くに運ばれる(飛ばされる)ことが大切である。実や種の運ばれ方(飛ばされ方)とその植物の例の組合せとして適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	風によって飛ばされる	動物に食べられて、運ばれる	実がはじけて、種が飛ぶ
ア	スミレ	ヤマブドウ	アオギリ
イ	アケビ	アオギリ	スミレ
ウ	アオギリ	アケビ	スミレ
エ	アオギリ	スミレ	ヤマブドウ

問16 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (5)季節の変化と生活」において、学校近くの街路樹の葉を比較、分類する活動を行った。街路樹には、サクラ、イチョウ、トチノキが見られた。これら三つの植物の葉は、A～C(縮尺は異なる)のどれか。植物の名称と葉の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



	A	B	C
ア	サクラ	トチノキ	イチョウ
イ	サクラ	イチョウ	トチノキ
ウ	イチョウ	トチノキ	サクラ
エ	トチノキ	サクラ	イチョウ

問17 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (6)自然や物を使った遊び」にかかわる活動として、身近な物を使ったおもちゃづくりがある。身近な物として磁石を用い、その面白さや自然の不思議さに気付く活動を設定した。磁石の性質や取扱いについて述べたものとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 馬蹄形^{ばていけい}や棒形の磁石の場合、一方の端がN極でもう一方の端がS極であるが、円筒形の小型の磁石には、N極のみの磁石、S極のみの磁石の2種類がある。
- イ 複数の棒形磁石をしまうときは、磁石どうしが付かないように間に木片などを入れるとともに、異極を保持鉄片でつなぐ。
- ウ 電気を通す物質はすべて磁石に付く。
- エ 針金を曲げて作ったクリップは磁石に引き付けられるが、水の中に入れると磁石に引き付けられない。

問18 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (7)動植物の飼育・栽培」にかかわり、モルモットの飼育方法について述べたものとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 完全な草食動物であり、専用ペレットと牧草、野菜や果物を与えるのがよい。
- イ 抱くときは前足を指で固定しながら脇を持ち、もう一方の手でお尻を支えて胸に持ち上げて、膝に安定させて抱くのがよい。
- ウ 生活適温は17～25℃であり、適温より低くならないように保温が必要である。
- エ 敏捷^{びんしょう}で跳躍力もあるので、飼育容器(ケージ)の上ぶたは、必ず閉めておく。

問19 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (7)動植物の飼育・栽培」にかかわる活動として、アメリカザリガニを飼育することにした。アメリカザリガニの生態を述べたものとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア カニという名前がついているように、カニの仲間である。
- イ 草食性であるため、水草しか食べない。
- ウ オスとメスを外見で比べても、容易に見分けることはできない。
- エ 後ろへジャンプする性質がある。

問20 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (9)自分の成長」では、児童が自分の成長を実感できるように配慮することが大切である。次の活動のうち適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 掃除など、自分でできるようになったことをもとに、自分の成長を実感させる。
- イ 入学前の時の写真を見て、自分の成長を振り返らせる。
- ウ 成長を振り返る上で、学級全体で統一して過去から現在に至るまで順にたどる。
- エ 児童の誕生や生育にかかわる事柄を扱う場合などでは、プライバシーの保護に留意する。